

広報

# 沼津

12月15日号

2015年(平成27年) No.1520

お知らせ号

次号の広報ぬまづは  
1月15日号です

■沼津市ホームページ……<http://www.city.numazu.shizuoka.jp/>

We Love NUMAZU!



まちなかのにぎわい(よさこい東海道)

## 今年一年を振り返って

市長 栗原 裕康

本年一月、沼津駅周辺総合整備事業の中核をなす鉄道高架事業が、事業主体である静岡県より改めて推進する旨の方針が示されました。この事業は、東海道本線と御殿場線を高架にし、駅近接の車輛基地と貨物駅を市西部地区に移転するというもので、財政面や費用対効果等の観点から、市民間で相反する意見が長い間対立したままになっていました。そこで六年前、知事の指示で事業を今一度検証しようということになり、有識者による議論を経て、市民間によるP1手法による話し合いが行われましたが、結論としてどうしても賛成・反対双方の意見の一致が見いだせず、「何も決めないことが一番良くない」との双方の認識から、最終的に知事が従来の方針通り推進するとしたものです。

私はかねてより、沼津市をかつてのような県東部で一番都会的な魅力にあふれたまちにするという目標を立てておりましたので、大変意義ある結論だと歓迎しております。加えて、昨年の本欄でも述べましたように、沼津を元気にしたいという民間有志の方々が続々とまちなかにぎわいづくりに参加して下さるようになりました。特に今年は高校生の参加が目立ち、中でも沼津御用邸記念公園での秋のイベントに合わせた着物姿による高校生の観光ボランティアは地元紙にも紹介され好評を博しました。しかし課題も山積しています。とりわけ、市役所が行う様々な事業、サービス、あるいは民間の方々各自が行っている同様のものが、なかなか市民の皆様を知っていただけではないという現状は問題です。例えば「子育て支援」について、専門家の方々には沼津もなかなか良くやっていると評価される事業も、肝心の子育て世帯が知らなければ何にもなりません。広報ぬまづや市のホームページだけでなく、様々な方法で市政等の情報について市民への周知を図っていくことに工夫と力を傾注していくと思っています。